

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なら子ども発達支援センター ふぁ～すと		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	123	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 27日		～ 令和 8年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 高い専門性を持った職員が配置している。 ※保育士、公認心理士、理学療法士(PT) 作業療法士(OT) 言語聴覚士(ST) など 	<ul style="list-style-type: none"> 各専門性を持った職員が集まり、必要に応じたケース会議などを実施し、その子にあった療育が提供できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つの施設内で検査から訓練まで完結できるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 親子通園では、本人だけでなく保護者の悩み相談に応じながら、家庭での子どもの育ちを応援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士のコミュニケーションが取りやすい様に、働きかけている。 保護者も同じ空間で過ごすことで同じ悩みを持つ者同士が意気投合し繋がっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けの講座を実施する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 小集団の中で、個々の発達に応じた対応を心掛け、集団での活動がスムーズに行えるように支援している。 ※毎日通園では、基本的な生活習慣を身に付けるための療育を行うほか、給食も提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> リトミックや音楽療法を通して、発達を促している。 発達に応じたプログラムを提供し、コミュニケーションや微細活動などを多く取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語・机上・運動・学習などの個別支援を通して、成長へのアプローチを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・幼稚園と療育を併用している利用児が多く、1日の中で集団活動が重なることで、疲れや集中力の低下が見られる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力のある年長児にはより発散し集中できる環境にあるが、年少児には、行事が重なる際、疲れが見られることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会時期など園の行事などを考慮し、静と動のバランスを考えながらすすめていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の少人数なので、取り組む内容が設定しにくい。 ※発達の差や対格差があるので、クラス編成や療育内容の設定が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> できる限りクラス分けを行うようにしている。 ※課題のスムーズステップ化を実施。個々にあった目標を設定するよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・生活・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5領域を意識し、一人ひとりの「強み(ストレングス)」を活かした目標を設定します。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	なら子ども発達支援センターふぁ〜すと				公表日	2026年3月31日								
					利用児童数	123				回収数	39			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応						
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	2			<ul style="list-style-type: none"> 適切な広さで支援して頂いていると思います。大丈夫だと思うのですが、オムツを変えるマットを消毒して下さっているのか気になる時があります。 環境や設備は整っていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> オムツ交換時に使用するマットの消毒につきましては、これまで毎回実施しておりますが、保護者の皆さまに見えにくい部分であったと感じております。今後は、より安心していただけるよう、消毒の手順や実施状況が分かりやすい形でお伝えできるよう改善してまいります。 大きく体を動かすリトミックや運動遊具を用いた活動は、遊戯室または交流室を使用し、安全に配慮しながら実施しています。また、ランチルームとして食事の場所を確保するなど、活動ごとに「何をする場所なのか」を明確にしています。さらに、過度な掲示を避けたり、物の片付け場所を分かりやすく工夫することで、子どもたちが自発的に活動しやすい環境づくりを行っています。 教室への受け入れについてご心配をおかけしている点を受け止めております。現在も安全確保を最優先にしながら対応しておりますが、受け入れが一人になる時間帯があり、不安に感じられたことは真摯に受け止めます。今後は、可能な範囲で複数名での受け入れ体制を整える工夫や、保護者の皆さまに安心していただけるよう、受け入れ時の安全管理についての情報共有を進めてまいります。 個別担当の専門職員、集団療育を担当する保育士や児童指導員などがチームとなり、連携を取りながら一人ひとりのお子様へのアプローチを検討しています。カンファレンス等で意見を共有し、最適な支援方法を話し合いながら療育を進めています。また、心理面から子どもや保護者への関わり方を助言する専門職員が介入することで、支援の幅が広がり、職員全体のスキル向上にもつながっています。 						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	5		1	<ul style="list-style-type: none"> 初めて見学で訪れた際、各部屋が清潔で部屋数、職員数等を見て充実した環境で療育を受ける事が出来るだろうと思えました。 とても良かった。先生方専門性も高く、質問してもすぐに答えを返して頂けた。 							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36			3	<ul style="list-style-type: none"> 教室への子どもの受け入れは大変そうに感じる。その中でも子どもの安全は守られていると思うが、子どもの様子を見る一番大切な時間と思うので、一人での受け入れになっている際は少し不安に思う。 							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	1			<ul style="list-style-type: none"> 視覚的にわかりやすくなっていると思う。 							
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	2			<ul style="list-style-type: none"> 成長と共に少しずつ困り事が変わっていきますが、その都度対応して頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は日々の観察やアセスメントを通してこどもの特性や発達状況を把握し、その理解に基づいた支援を行っています。個別支援計画に沿って専門的な関わりを職員間で共有し、支援方法の統一と質の向上に努めています。定期的な振り返りやケース会議を通して支援内容を見直し、より適切な支援が提供できるよう継続的に改善しています。 						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1		3	<ul style="list-style-type: none"> 合っていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が公表している支援プログラムに基づき、こどもの特性や発達状況に応じた支援を計画的に実施しています。日々の活動や個別支援計画がプログラムと整合するよう職員間で共有し、支援の質を確保しています。定期的な振り返りを行い、必要に応じて支援内容を見直すことで、プログラムと実際の支援が一致するよう改善を進めています。 児童発達支援計画は、担当者が保護者様との面談を行い、サービス計画書のモニタリング結果や療育中のお子様のご様子を確認したうえで作成しています。面談でお伺いした内容を反映し、今後の療育目標を進めていくための計画としてまとめています。計画の見直しは6カ月に一度実施しておりますが、お子様の支援内容に変更が生じた際には、その都度計画を立て直しています。 運営規定や利用者負担については、見学時にご説明していますが、ご不明な点があればその都度お答えし、個別に対応しています。 						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	2			<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画は保護者のニーズにとっても良く反映して下さっていると思います。 							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	2			<ul style="list-style-type: none"> その都度説明して下さっており、特に不足を感じる事はありません。 							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	2			<ul style="list-style-type: none"> 適切な支援をして頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画に沿った支援については肯定的な回答が多い一方で、「いいえ」の声もあり、支援内容の伝わりにくさが課題と受け止めています。計画と日々の支援の整合性を職員間で確認し、説明や情報提供の工夫を進めることで、計画に基づく支援がより明確に伝わるよう改善を図っています。 療育内容やプログラムは、お子様一人ひとりのニーズに応じて毎週立案しています。同じ活動であっても、年間を通してスモールステップで段階的にレベルアップし、経験を積み重ねられるようにしています。こうした取り組みを通して、遊びの楽しさや理解を深めながら、安心して集団の中で過ごせるような内容を計画し、進めています。 						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	1			<ul style="list-style-type: none"> ルーティーンを作って安心できる様にしながらも、様々な活動や遊びをして下さっていると思います。 今は週1回の並行通園ですが、活動プログラムにバリエーションがあり、先生が一人ひとりに優しく声を掛けて下さり、子どもも喜んで通っています。 月間予定表や日々の記録票で様々なプログラムを実施して頂いている事を実感しています。 							
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				39									
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	3			<ul style="list-style-type: none"> 説明をしっかりと頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営規定や利用者負担については、見学時にご説明していますが、ご不明な点があればその都度お答えし、個別に対応しています。 							

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	1	2	3	・一つずつ丁寧に説明して頂きました。	・「児童発達支援計画」を示しながらの説明については、多くの方から「はい」との回答をいただきましたが、一部には「十分ではない」とのご意見もありました。日々の懇談会や個別のやり取りで支援内容の共有は行っていますが、計画書を用いた説明が不足していた場面があったことを受け止め、今後は計画書をより積極的に活用し、分かりやすい説明に努めてまいります。 ・心理面から子どもや保護者様への関わり方を助言する専門職員が介入し、支援者が柔軟に対応できる体制を整えております。また、職員はペアレントトレーニング研修を受講し、保護者支援の質向上に努めています。さらに今年度は、公認心理師による保護者向けペアレントトレーニング講習も実施し、家庭と事業所が一体となって子どもを支える仕組みづくりを進めてまいりました。頂いたご意見を踏まえ、今後は情報提供の方法についても改善を図り、より安心していただける支援体制を整えてまいります。 ・日々のご様子につきましては、基本的に伝票へ記載しておりますが、より詳しいお知らせが必要な場合には、LINEやお電話にて個別にお伝えしています。また、毎日通園されているお子様については、連絡ノートを活用し、日々の様子や支援内容を共有しております。今後も、お子様の様子をより分かりやすくお伝えできるよう、情報提供の方法を工夫し、細やかな支援を心がけてまいります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	3	1	5	・あまり先生方と直接話す機会がなく、情報提供して頂く事が少ない為、どちらとも言えないにしています。	・現在、個人面談は年に2〜3回実施しておりますが、それ以外にもご相談がある場合は随時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせください。また、送迎時などの短い時間でも、お子様の様子や気になる点についてお声がけいただければ、可能な範囲で対応させていただきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37	1	1			・細かい要望も聞いて下さり、安心して通わせる事ができた。 ・子どもの成長などについては、互いに伝えあい認識できていると思います。	・LINEやお電話にて個別にお伝えしています。また、毎日通園されているお子様については、連絡ノートを活用し、日々の様子や支援内容を共有しております。今後も、お子様の様子をより分かりやすくお伝えできるよう、情報提供の方法を工夫し、細やかな支援を心がけてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35		2	2		・成長著しいわが子を見送り、迎えられる楽しみは我が家の何よりの話題です。ありがとうございます。	・現在、個人面談は年に2〜3回実施しておりますが、それ以外にもご相談がある場合は随時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせください。また、送迎時などの短い時間でも、お子様の様子や気になる点についてお声がけいただければ、可能な範囲で対応させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	2				・子どもの困り感を良く理解して下さっていると感じます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	7	15		・そこまで手がまわる施設は少ないと思うが、期待はしています。 ・保護者やきょうだいの交流はあまり多くはないと思います。	・父母の会の活動支援や保護者会、きょうだい向けイベントについては、現状では十分に実施できていないため、「いいえ」の回答が多い結果となりました。一方で、当センターでは毎日通園の学期末に実施される参観で懇談会を行い、保護者の皆様が日々の様子やお子様の成長を共有できる場を設けています。また、保護者向け心理講習会では、希望される保護者の方々が集まり、講習を受けながら自然な交流が生まれる機会となっています。今後は、これらの取り組みに加えて、保護者同士やきょうだい同士がつながりやすい機会をさらに広げていけるよう、企画の検討を進めてまいります。皆様からいただいたご意見を大切にしながら、より良い家族支援につなげていきたいと考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	3		1		・特性のある子ばかりで手間もかかるしイライラする事も多いはずなのに、根気よく子に付き合っ下さる。本当に感謝している。(女性の方特に)明るくハキハキしていて親として何度も元気をもらい、感謝しています。 ・先生から親に声を掛けて下さる事も多く、相談しやすい雰囲気を作って下さると思います。 ・日々の連絡帳でとても丁寧に読んで頂いているのはわかかっていましたが、面談で驚くほど細かくしっかり見見て下さって嬉しく思いました。	・迅速な対応につながっております。また、保護者様の不安が少しでも軽減されるよう、日々のやり取りの中で必要に応じてアドバイスをお伝えしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1		2		・連絡帳での相談に乗って頂いたり、降園時に今日できた事などを教えて頂き、ありがたく思っています。 ・先生に相談をしようとしていた所、退職の知らせや説明がなくなり、誰に相談すればよいかと不安を感じている。退職された先生にはとてもお世話になったので、最後に挨拶出来たらよかったですと少し残念だった。可能な限り関わりのあった先生の退職など、ラインでお知らせを頂きたい。	・担当職員の退職に関するご案内が行き届かず、不安なお気持ちにさせてしまい申し訳ございませんでした。職員の退職は急な場合も多く、事前にお知らせできない点をご理解いただけますと幸いです。そのうえで、可能な範囲で情報共有の改善に努めてまいります。担当につきましては、これまでの支援内容を踏まえて責任をもって引継ぎを行っております。今後も安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	3		9			
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1		1			・個人情報につきましては、職員一同、十分注意して取り扱っております。写真の送信については、毎日通園されているお子様のみを対象とし、情報流出にご注意いただくことをお願いしたうえで、定期的にLINEにてお送りしています。今後も安全な情報管理に努めてまいります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	3	1	9	・訓練についてはわかりません。 ・避難訓練の様子をいつも報告して頂いています。 ・月に1回避難訓練が行われているので、いざという時にも大丈夫だと思います。	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを整備し、保健だよりや入所時説明を通じて保護者へ周知しています。コロナやインフルエンザ、胃腸炎などの感染症については、消毒や換気を徹底し、必要な情報を迅速にお伝えできるようLINE等を活用して連絡しています。職員にはマニュアル内容を共有し、感染症対応や避難・防犯を想定した訓練を定期的実施しています。訓練結果や意見を踏まえてマニュアルを見直し、安全確保に向けた体制の充実に努めています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	2		11		・年2回、消防署に連絡し、消防訓練を実施しています。 ・毎月25日に火災・火災と地震など月ごとに設定を変えながら、定期的に避難訓練を行っています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	3		2		・先生方を信頼しているので心配はありません	

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1	8	・急病などでも素早く対応して下さっています。	・事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者へ連絡し、発生状況や対応内容について丁寧に説明する体制を整えています。必要に応じて医療機関への受診や応急処置を行い、その内容も明確にお伝えしています。再発防止に向けて職員間で状況を共有し、環境や支援方法の見直しを行うことで、安全性の向上に努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	2		・先生や友達がいる事で安心できる場所になっています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	3		・子どもが楽しみにしています。特に運動遊びやふれあい遊びが楽しいようです。いつも先生方ありがとうございます。 ・子どもは療育を楽しみにしています。 ・自分から「今日は楽しかった！」と話すことが増えました。少しずつですが、できる事が増え、成長を感じます。 ・休みの日に「ふぁ～すで行こう」と言う程、毎日楽しみにしています。 ・楽しみにしている時もあれば、渋りながら頑張って行っている時もあります。	・ふぁ～すに通うことが、お子様や保護者様にとって安心できる時間となり、「楽しい」「できた」という経験の積み重ねが、笑顔あふれる療育につながっていると感じております。ときにはお子様が行き渋る日もありますが、そのたびに保護者の皆様がそっと背中を押し、通所を支えてくださっていることが、お子様の成長を大きく後押ししています。集団療育の場では、友達を意識しながらお互いを認め合い、助け合う姿が育ってきています。自己肯定感を味わい、個々の成長を認め合い、励まし合える関係が、お子様の大きな成長の糧になることを願っております。保育士や専門職員がチームとして連携し、より良い療育を提供できるよう、今後も努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	2		・基本的に満足しているのですが、職員の方の突然の異動などで個別の時間が減ってしまっている状態が続いており、その点がとても残念です。 ・急に先生が変わる事がありますが、事後報告で構わないので保護者にお知らせして頂けると嬉しいです。	・事業所の支援につきまして、基本的に満足いただけているとお声を頂戴し、大変うれしく思っております。一方で、職員の急な異動等により個別の時間が減ってしまう状況があり、ご不便をおかけしている点については申し訳なく感じております。個別支援のご希望にはできる限りお応えできるよう努めておりますが、全ての利用者様のご要望に完全に沿うことが難しい場合もございます。中でも、お子様に必要な支援が確保できるよう職員間で連携し、調整を行っております。今後も、お子様と保護者様に安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		なら子ども発達支援センター ふぁ～すと				公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		15			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15		・会議やカンファレンスにより話し合いをしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		・年間を通して活動内容を計画し、少しずつレベルを上げながら取り組める工夫をしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15		・個別訓練の専門職と集団療育を行う保育士等でカンファレンスを行い、支援計画の立案に取り組んでいる。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		・当日の活動内容について、毎朝チームで少しの時間でも話し合い、連携しながら取り組んでいる。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		・地域の園に通っている並行通園の子どもに関して、関わる関係機関と必要に応じて情報共有を行い、支援内容の相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	15			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			・個別支援計画の更新時や就学支援、地域移行時、それ以外に保護者希望時など、定期的に面談を実施し、子どもの様子について共有している。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			・保護者の希望者の中から、公認心理士による保護者向けCARE講習を複数回にわたり実施し、大変好評だった。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		・初回面談時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15		・面談を通して共有し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		・連絡帳、LINE等を利用し、すぐに対応できる様になっている。必要であれば面談を設定し対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15		・毎日通園では参観後、懇談会を実施する機会を作って交流を図っている。	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		・連絡帳、LINE等を利用し、すぐに対応できる様になっている。		
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15		・毎月おたより等発行し、保護者に活動内容を伝えたり、各行事前には手紙の配布も行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		・個人情報の取り扱いに関する手紙やアンケートを通して保護者に内容を確認してもらい、適切な情報管理に努めている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		15		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		・毎日通園では給食開始に伴い、事前に聞き取りアンケート等を実施し、必要な子どもには診断書を提供してもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15				

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援 すてっぷ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日	～	令和 8年 2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月27日	～	令和 8年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学校で必要とする友達との距離感や感情のコントロールを身につけることができる。	・少人数の中で、貸し借りや順番待ち、意見の食い違いを経験できます。失敗しても、その場でスタッフが適切な言葉や解決策を伝えられる。	・こんなときどうする？相手の気持ちを推測する力や、トラブルを言葉で解決する力を実践やクイズ形式にして身につける。
2	・保護者と共に子どもの「情報共有」を行う。	・情報共有を行うことで学校へ子どもの状況や具体的な有効な配慮事項を伝えることができる。	・事業所としても小学校の情報を得ることで保護者への安心感を提供していく。
3	・大人数の集団では見落とされるちょっとしたつまづきを、支援員が見逃さない。	・先生の話最後まで聞く集中力の持続など、子どものペースに合わせてスモールステップで進めている。	・「自分是可以る！」という成功体験の積み重ねと「失敗しても大丈夫」という安心感を育むための経験も増やしていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発達差や体格差があるので、クラス編成や療育内容の設定が難しい。	・一方には簡単すぎ、もう一方には難しすぎる状況が生まれ、どの子にとっても手応えのない時間になりがち。	・前半は全員参加での課題に、後半は各自の課題に取り組むなどの配慮を実施。また、柔軟な縦割り・横割りのクラス編成を行う。
2	・少人数であるからこそ、チームに分かれて取り組む活動が設定しにくい。	・メンバーが固定されるため、子ども同士の相性が限定され、トラブルが起こることもある。	・個々に異なった役割を与え、責任感や連帯感に繋がるよう工夫している。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 すてっぴ
------	-------------

公表日 2026年3月31日

利用児童数 41

回収数 20

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	2	・先生の人数などは適切かと思えます。 ・親子から入った時におられた先生方が辞められたり異動があったりし、少し不安に思いました。	・この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 また、これまで関わらせて頂いた職員の異動や退職により、ご不安なお気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。 お子様や保護者の皆様に安心してご利用頂けるよう、職員間での情報共有や引き継ぎは丁寧に行っておりますが、ご心配をおかけしてしまった事と受け止めております。 今後も、お子様一人ひとりの様子を大切にしながら、安心して通って頂ける環境づくりに努めてまいります。 気になる事やご不安な点がございましたら、いつでもお気軽にお声かけ下さい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	1	3	・職員の配置数は、不十分に感じる。 ・職員配置の確保は、すてっぴ北館はわかりません。	・職員配置につきましては、十分とのご意見を頂く一方で、不十分ではないかとのご意見も頂きました。 配置自体は規定に基づいて行っておりますが、降園時間など慌ただしくなる場面がある事も感じております。 特に送迎車の出入りがある時間帯については、お子様の安全を第一に考え、職員体制を見直すなどの工夫をしていきたいと思えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	1	・送迎車の利用人数も増えているように思うので、余裕のある人員配置が望ましい。 ・発達グレーや特性の子どもに対して、どう接したら良いのか悩んでいる親は多いと思うので、安心、信頼のできるコミュニケーションの取り方を持った接し方の職員さんが増えてほしい。	また、体制を整えることで、お子様のその日の様子もより丁寧にお伝えできるよう努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	1		・発達に特性のあるお子様への関わり方について、不安や悩みを抱えておられる保護者様が多いこと、私たちも大切な事として受け止めております。 そのような中で、安心して気軽にご相談頂ける関係づくりや、信頼して頂ける関わりができるよう、職員一人ひとりが専門性を高めながら、丁寧な対応に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	1	0	・職員間や他施設との間での「報連相」システムが薄くなっているのを感じる。	・職員間での「報告・連絡・相談」につきましては、日頃より意識して取り組んでおりますが、行き届いていない点があったものと受け止めております。 今後はより一層、情報共有の徹底を図るとともに、職員一人ひとりが「チーム」としての意識を持ち、統一した支援や対応ができるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	2		・また、当法人の放課後等デイサービスとの連携につきましては、年長児のお子様には小学校入学前に利用の有無を保護者様におうかがいし、利用をご希望される場合には、見学前に療育での様子等を申し送る機会を設けております。 お子様が新しい環境でも安心して過ごせるよう、今後も丁寧な引き継ぎと情報共有に努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	0		
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	18	0	2			
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	1	・業務や送迎等、お忙しい中とは思いますが、保護者の疑問や質問に少しモヤモヤする事、またはうれしかった子どもの成長に関しての報告など、先生と保護者とが共感したり、言葉をかわす機会が格段に減ったと感じる。	・日々の様子につきましては、直接お伝えさせて頂くほか、送迎サービスをご利用の保護者様にはお話しする機会に限られる事もあるため、LINEやお電話等でお伝えするよう努めております。 しかしながら、保護者様とのコミュニケーションが十分に取れていなかったと感じさせてしまった事、申し訳なく思っております。	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	3		今後は、お子様の成長や日々の様子について共感し合える時間を大切にしながら、保護者様と一緒に考え、言葉を交わす機会を大切にしていけるよう努めてまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	2	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	4	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	0	2	<p>・定期的に面談はないですが、お顔を合わせた際にいつも声をかけて下さり、気にかけて下さっているのがわかります。</p> <p>・温かいお言葉を頂き、ありがとうございます。 個人面談は年に2~3回実施しておりますが、それ以外にもご相談は随時受け付けております。内容に応じて、面談やお電話、LINE等で対応させて頂いております。 また、必要に応じて園との連携も行いながら、お子さまやご家庭の状況に応じた支援に努めております。 今後も保護者様と安心してやり取りができるよう、丁寧な対応を心がけてまいります。</p> <p>・父母の会および保護者会等の活動につきましては、並行通園の特性を考慮し、現時点では実施しておりません。</p>		
	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	19	1	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	3	7			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	2			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2	0	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1	6			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	3			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	7		<p>・感染症対策につきましては、マニュアルを整備し、日々の健康管理や消毒・換気の徹底に取り組んでおります。 コロナウイルスやインフルエンザ等の感染状況についても、LINEを活用し迅速にお知らせしております。</p> <p>・防災対策として年1回の自衛防災訓練を実施するとともに、毎月25日には火災や地震などを想定した避難訓練を行っております。</p>	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	6			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	2			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	1	<p>・子どもは通所を楽しみにしながら、たくさんの成長に促して頂いた事に感謝していると同時に、LINE連絡での不誠実さや職員間での対応のずれや認識の誤差など、残念な気持ちも拭えません。当施設に感謝しているからこそ、誠実に向き合って頂け、言葉に温かみや温度のある支援の継続を強く望みます。</p> <p>・毎週楽しんでいる様子が親としてもとてもうれしく、いつもありがたいなあと思っています。引き続きよろしく願ひ致します。</p> <p>・温かいお言葉とともに、率直なご意見を頂きありがとうございます。 これまでの支援に感謝して頂いているお気持ちを大変ありがたく感じる一方で、LINEでの対応や職員間の認識のずれにより、ご不安や残念なお気持ちにさせてしまいました事、心よりお詫び申し上げます。 頂いたご意見を真摯に受け止め、職員間での情報共有や対応の統一を改めて徹底し、保護者様に安心して頂ける関わりを大切にまいります。 今後も、お子さまの成長を共に喜び合いながら、温かみのある支援を継続していけるよう努めてまいります。</p> <p>・温かいお言葉を頂き、ありがとうございます。 お子様が毎週楽しみに通ってくださっている事、また保護者様にもそのように感じて頂けている事を大変嬉しく思っております。 集団療育の中で、お友達との関わりを通して互いを認め合い、助け合う姿や、お子様一人ひとりの成長が少しずつ育まれている事を私たちも嬉しく感じております。</p>		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	2		<p>・お子様の成長とともに、保護者様のお気持ちにも変化があった事をお聞きし、少しでもお力になれている事を大変ありがたく思っております。</p> <p>今後もお子様の成長を大切にしながら、安心して通って頂けるよう、職員一同努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 すてっぷ		公表日		2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・会議やカンファレンスにより話し合いをしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・年間を通して活動内容を計画し、少しずつレベルを上げながら取り組める工夫をしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別訓練の専門職と集団療育を行う保育士等でカンファレンスを行い、支援計画の立案に取り組んでいる。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・当日の活動内容について、毎朝チームで少しの時間でも話し合い、連携しながら取り組んでいる。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・地域の園に通っている並行通園の子どもに関して、関わる関係機関と必要に応じて情報共有を行い、支援内容の相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・個別支援計画の更新時や就学支援、地域移行時、それ以外に保護者希望時など、定期的に面談を実施し、子どもの様子について共有している。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・初回面談時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・面談を通して共有し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・LINE等を利用し、すぐに対応できる様になっている。必要であれば面談を設定し対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・連絡帳、LINE等を利用し、すぐに対応できる様にしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月おたより等発行し、保護者に活動内容を伝えたり、各行事前には手紙の配布も行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			